



評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北海道警察学校 術科棟	階数	地上3F
建設地	札幌市南区真駒内南町5丁目1番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	415 人
気候区分	1地域	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2017年2月1日
敷地面積	52,511 m ²	作成者	榎大建設
建築面積	1,288 m ²	確認日	
延床面積	3,808 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外の 72%
④上記+ 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道警察学校の全体整備計画に基づいた外観やボリュームとすることで、全体的な一体感を確保し、加えて周辺環境との調和も図った計画とする。 断熱は外断熱方式を採用し、また、窓を単窓(ポツ窓)としガラス面積を最小限とし、空調負荷の低減を考慮している。 	<p>A 省エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 外壁に外断熱工法を採用し、屋上の断熱防水と併せてコールドブリッジがない計画。
<p>B 省資源等</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水再利用のシステムを導入し、水資源の保護に配慮した計画としている。 建物躯体や建築仕上げ材にリサイクル材の使用を図っている。 	<p>C 緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> 公道に面した部分に高木の植栽を配置し、公共空間からほとんど見えない配置計画としている。 敷地内の緑地率を基準20%に対し24.78%を確保。
	<p>D 雪処理</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される